

平成26年度

事業報告書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

1. グッドデザイン賞事業
2. 海外事業
3. 広報事業
4. 震災復興支援事業
5. 公共プロモーション事業
6. 会務

1. グッドデザイン賞事業

グッドデザイン賞は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、社会全体をより豊かなものへと導くことを目的とした「総合的なデザインの推奨制度」である。2014年度のグッドデザイン賞事業は、時宜に適った審査の実施に向けた制度改正、受賞者利益の増大化に向けたプロモーション機能の強化を重点施策に位置づけて、各事業を展開した。



実施状況

2014年度グッドデザイン賞は、2014年4月2日から応募を開始し、10月1日に受賞結果を発表した。審査対象と受賞対象の件数は以下の通り。

審査対象数：3,601件

受賞数：1,258件

受賞企業数：801社

グッドデザイン・ベスト100：100件

東日本大震災復興支援特例措置枠※1での受賞：57件

海外デザイン賞連携によるタイ・インド・シンガポールからの応募による受賞※2：36件

日本アセアンセンターとの共同事業「メコンデザインセレクション」選定対象からの受賞※3：21件

2014年度グッドデザイン特別賞

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞） 1件

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞） 19件

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞（経済産業省商務情報政策局長賞） 20件

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（中小企業庁長官賞） 14件

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞（日本商工会議所会頭賞） 3件

復興デザイン賞（日本デザイン振興会会長賞） 2件



表彰式

受賞者は日本のほか、のべ16の国と地域に及んでいる。技術開発力や技術応用力が実生活の場面に適切に活かされたデザインが分野を問わず増えており、エンジニアリングやプランニング等開発に携わる幅広い関係者がデザインの視点や手法を用いるようになったことがうかがえる。また、グッドデザイン大賞は産業用ロボットが選出され、1995年のスーパーコンピューター（NEC）以来、18年ぶりとなる工業用製品の大賞となった。



産業用ロボット（デンソー+デンソーウエーブ）

都道府県別受賞件数 内訳

北海道	7	福井県	8	山口県	6
青森県	7	山梨県	3	徳島県	5
岩手県	7	長野県	7	香川県	0
宮城県	13	岐阜県	10	愛媛県	2
秋田県	5	静岡県	17	高知県	1
山形県	6	愛知県	69	福岡県	17
福島県	7	三重県	5	佐賀県	2
茨城県	12	滋賀県	3	長崎県	2
栃木県	2	京都府	21	熊本県	4
群馬県	4	大阪府	171	大分県	4
埼玉県	19	兵庫県	21	宮崎県	3
千葉県	7	奈良県	3	鹿児島県	3
東京都	536	和歌山県	3	沖縄県	4
神奈川県	56	島根県	0		
新潟県	23	鳥取県	2		
富山県	12	岡山県	3		
石川県	6	広島県	13		

海外地域別受賞件数 内訳

Cambodia	6	India	3	Thailand	33
Canada	1	Korea	74	U.K.	2
China	18	Laos	6	U.S.A.	15
Denmark	3	Myanmar	4	Vietnam	5
Germany	3	Singapore	2		
Hong Kong	4	Taiwan	58		

※1 復興支援を目的とする特例措置

東日本大震災からの復興を支援するため、2011 年度より東北 6 県と茨城県に本社を置く事業者からの応募に関する費用を免除している。

※2 海外デザイン賞連携によるタイ・インド・シンガポールからの応募による受賞

2008 年のタイ王国商務省輸出振興局以降、各国のデザイン賞との連携協定を進めている。2014 年度は、タイ（DE 賞／2008 年より）、インド（I Mark／2013 年より）、シンガポール（SG Mark／2014 年より）と相互連携をはかっている。

※3 日本アセアンセンターとの共同事業「メコンデザインセレクション」選定対象からの受賞
国際機関日本アセアンセンターの協力のもと、カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナムを対象に、グッドデザイン賞を活用して内在しているバリューを外在化させ、さらに日本のデザイナーとのビジネスマッチング・商品開発支援までをめざしたプロジェクト「メコンデザインセレクション」を 2013 年度から実施している。2014 年度にセレクションされた 21 件に対して、デザイナーから提案を募集。審査の結果、12 組のマッチングが決定し、デザイナーは 2015 年 3 月に現地へ渡航し、商品化に向けた具体的なアクションを始めた。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞

発売以来 10 年以上継続的に提供されて、かつユーザーや生活者の支持を得ていると思われるデザインについて広く一般より推薦を受け付け、厳正なる審査を経て 2014 年度は 26 社 25 件がロングライフデザイン賞を受賞した。

審査テーマ

2014 年度グッドデザイン賞は、審査委員長に深澤直人氏、副委員長に佐藤卓氏を迎え実施した。審査にあたって、深澤審査委員長からは「心地の質」が審査テーマに挙げられ、これまで「もの」によって媒介されていた機能の数々がダイレクトに生活の中に顕われてくるようになった状況の中で、「目に見えにくい部分を含めてデザインすることが、どのような心地を私たちにもたらしてくれるかについて追求していきたい」という方針が示された。

評価の考え方と方法

社会の情報化や産業のサービス化の進展に伴い、デザインがなされる対象も、具体的なカタチが伴った対象（ハードウェア）だけにとどまらず、情報やコミュニケーション、さまざまな関係を維持するためのシステム・仕組みなどへと急速に多様化している。このような状況を踏まえ、2014 年度は「デザインを動詞として捉える」という考えのもと、審査のプロセスおよび応募記入項目等について見直しを行った。

応募記入項目の改訂

これまでグッドデザイン賞の応募記入項目については、「デザインがもたらした効用」を軸に組み立てを行っていた。2014 年度では「審査においてもデザインのプロセスを重視する」という観点から以下の項目について改訂を行った。

【変更前の記入項目】

- ・開発のきっかけ、発端
- ・実現にあたり、解決を要した課題、問題
- ・デザインにおいて最も力を入れたこと
- ・サステナブル社会の実現に向けて取り組んだこと
- ・「身体・人間」の視点からみて、提供できること
- ・「生活」の視点からみて、提供できること
- ・「産業」の視点からみて、貢献できること
- ・「社会・環境」の視点からみて、貢献できること

【変更後の記入項目】

- ・背景
- ・デザインコンセプト
- ・企画・開発の意義
- ・創意工夫
- ・デザイナーの想い

審査委員チュートリアルブックの公開

審査の透明性向上および評価の考え方・プロセスを応募者と共有することを目的に、審査委員に配布している評価の方法や考え方を記した「審査委員チュートリアルブック」を公開した。

対話型審査の実施

より精緻な審査を行うことを目的に、2013年度より応募者と審査委員が対話により質疑応答を行う機会である「対話型審査」を二次審査会に導入した。2014年度は対話型審査を二次審査会2日目に変更して実施することにより、二次審査の中核に据えた。2014年度は約45%の応募者が対話型審査に参加した。

審査運営

ものづくりの高度化に伴い、生活や産業から「かたちの見えないデザイン」、情報やシステムや仕組みを伴った対象に対する適切な対応が求められている。これらを踏まえ、2014年度は、様々な分野から新たに18名を審査委員として委嘱した。また今年度も「特別審査ユニット」を編成し、領域横断的に「インタラクション」「仕組み」に立脚した審査を行った。特別賞各賞の審査に際しては、前年度のグッドデザイン金賞等受賞作を手がけたデザイナーや、グッドデザイン賞との事業連携にあるタイ・インド・シンガポールの運営関係者、全23名をゲスト委員として招聘した。

海外での審査

応募者の利便性向上およびグッドデザイン賞の認知度向上を目的に、従来からグッドデザイン賞への応募が多く、新規の応募者も増加している台湾、韓国、香港において、8月に二次審査会を実施した。期間中は日本と同様、対話型審査を実施し、またグッドデザイン・ベスト100候補を選出した。

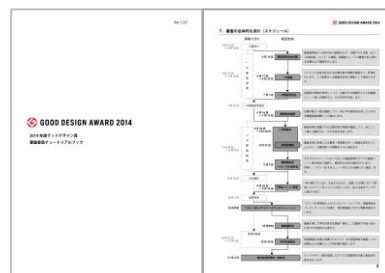
台湾二次審査会（8月4・5日）協力：台湾デザインセンター

韓国二次審査会（8月5・6日）協力：韓国デザイン振興院

香港二次審査会（8月12・13日）協力：香港デザインセンター

グッドデザイン・ジャパニーズファニチャーセレクション

日本の家具メーカーと協力し、日本の家具を積極的に国内外にプロモーションするプロジェクト「グッドデザイン・ジャパニーズファニチャーセレクション」を始動させ、2014年度は15件の家具をセレクションした。受賞展では商業スペースで展示をしたほか、大阪のリビング&デザイン展やインテリアライフスタイル展での特別展示などを展開した。



審査委員チュートリアルブック



対話型審査



二次審査会



特別賞審査会



海外での審査会

プロモーション

2014年度のグッドデザイン賞では広く社会に向けてデザインの普及と啓発を進めるべく、受賞デザイン全件を紹介する受賞展「グッドデザインエキシビション」を中心に、連携展示・販売企画など、様々な企画を実施した。

グッドデザインエキシビション 2014

2014年度グッドデザイン賞を受賞した全件および企業や学校などのデザインの取り組みや、発展著しい海外のデザインの紹介などを行うイベントとして「グッドデザインエキシビション 2014」を、東京ミッドタウンで開催した。

会期：2014年10月31日～11月4日

会場：東京ミッドタウン

総来場者数：240,166名

見本市出展

タイ「バンコク国際ギフトフェア」Japan House ブース

2014年10月19日～23日

韓国「DESIGN KOREA 2014」

2014年11月6日～10日

日本「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」

2014年11月26日～28日

中国「Shenzhen International Industrial Design Fair」

2014年11月29日～12月2日

香港「IDT Expo, Business of Design Week」

2014年12月4日～6日

インド「India Design Mark Exhibition」

2015年2月20日～22日

日本「建築・建材展 2015」

2015年3月3日～6日

販売企画

渋谷ロフト「GOOD DESIGN STORE in Loft
NEW CREATORS from PMQ」

2014年10月21日～11月3日

銀座三越「GINZA FASHION WEEK
くらしのグッドデザイン 70's & NOW」

2014年10月22日～11月4日

渋谷ヒカリエ「ロングライフデザイン
エキシビション 2014」

2014年10月31日～11月3日

大丸札幌店「グッドデザインマルシェ in 札幌」

2015年1月21日～26日

自治体等連携

柏の葉オープンイノベーションラボによるセミナーシリーズ「GOOD DESIGN BEST 100 とその未来」

2014年4月より2015年2月

あきた産業デザイン支援センターとの連携による巡回展「GOOD DESIGN from Akita」

2014年11月～12月

燕三条地場産業振興センターとの連携によるイベント「2014年燕三条受賞商品プレゼンテーション」

2014年12月12日

「九州デザインサミット in 熊本」内におけるグッドデザイン賞展示

2015年2月20日～21日

連合広告

主要日刊紙においてグッドデザイン賞の連合広告特集を実施した。

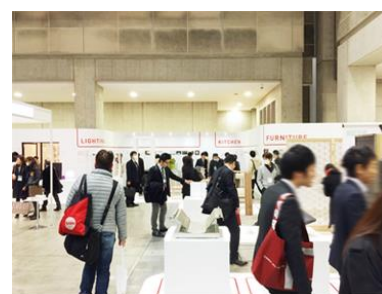
実施媒体：読売新聞／朝日新聞／日本経済新聞

特集記事

朝日新聞「朝日新聞デジタル&M」における特集記事「& GOOD DESIGN」／2014年11月より実施中



グッドデザインエキシビション



建築・建材展



GOOD DESIGN STORE in Loft



GOOD DESIGN BEST 100 とその未来

2014 年度グッドデザイン賞 特別賞一覧

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞） 1 件

産業用ロボット 医薬・医療用ロボット VS-050S2／株式会社デンソー＋株式会社デンソーウェーブ

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞） 19 件

グラス ANDO'S GLASS S, ANDO'S GLASS T／株式会社アンドーギャラリー

家電 無印良品 キッチン家電シリーズ／株式会社良品計画

4K 超短焦点プロジェクター LSPX-W1／ソニー株式会社

レンズスタイルカメラ商品群 DSC-QX10、DSC-QX30、DSC-QX100、ILCE-QX1／ソニー株式会社

デジタルカメラ dp Quattro／株式会社シグマ

ダイニングチェア KISARAGI／飛騨産業株式会社

高所作業用ランヤード 剣フック／株式会社基陽

脳外科手術用器具 脳外科マイクロ剪刀／株式会社シャルマン＋福井大学

医療ガス供給設備 ユニライン／株式会社セントラルユニ

自動火災報知設備・発信機 リング型表示灯付発信機／能美防災株式会社

電動アシスト車いす JW スウィング／ヤマハ発動機株式会社

軽乗用車 ダイハツ コペン／ダイハツ工業株式会社

普通乗用車 デミオ／マツダ株式会社

集合住宅 食堂付きアパート／仲建築設計スタジオ＋株式会社カバ＋梶沢春吉＋遠藤千恵

バス待合所 秋田駅西口バスターミナル／秋田中央交通株式会社＋秋田公立美術大学＋ナグモデザイン事務所ほか

デジタルインスタレーション Sound of Honda / Ayrton Senna 1989／株式会社電通

月刊誌 東北食べる通信／NPO 法人東北開墾

非営利活動 桜ライン 311／認定特定非営利活動法人桜ライン 311

災害ボランティア 思い出サルベージ／思い出サルベージ

グッドデザイン・未来づくりデザイン賞（経済産業省商務情報政策局長賞） 20 件

遠近両用累進屈折力メガネレンズ エーアイ／株式会社ニコン・エシロール

ダウンジャケット デサント オルテライン 水沢ダウンジャケット シャトル／株式会社デサント

ポータブル蓄電システム エリーワン／エリーパワー株式会社

電圧センサ PW9020／日置電機株式会社

織物 天女の羽衣／天池合織株式会社

ヘッドマウントイメージプロセッサユニット HMI-3000MT／ソニー株式会社

車椅子 エムシーエックス／橋本エンジニアリング株式会社

新交通システム車両 ゆりかもめ 7300 系／株式会社ゆりかもめ＋三菱重工業株式会社

商業施設 マーチエキュート神田万世橋／株式会社 JR 東日本ステーションリテイリング＋東日本鉄道文化財団ほか

しゃべってコンシェル／株式会社 NTT ドコモ＋株式会社 Surface&Architecture ほか

A tool that enables sustainable product creation Making of Making Powered by NIKE MSI／Nike, Inc.

タートル・タクシー／三和交通株式会社＋株式会社アイ・エム・ジェイ

デジタルものづくりサービス rinkak／株式会社カブク

住宅管理用ソフトウェア EOPAN／株式会社イオグランツ

スマートテニスセンサー Smart Tennis Sensor （スマートテニスセンサー）SSE-TN1／ソニー株式会社

電子試作ツール 8pino／VITRO

超小型半導体製造システム ミニマル ファブ／産業技術総合研究所コンソーシアムファブシステム研究会ほか

輸送計画システム 輸送計画 ICT ソリューション SaaS （TrueLine®）／株式会社東芝＋東芝ソリューション株式会社

活動 無印良品 Found MUJI の活動／株式会社良品計画

オープンディスカッションによる住宅企画 Tokyo イゴコチ論争／野村不動産株式会社＋三井不動産レジデンシャルほか

グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（中小企業庁長官賞） 14 件

マスク PITTA MASK／株式会社アラクス

タオル WORK-ER W007-WH 莫大小タオル／和田メリヤス株式会社

コーヒー&ティーサービス SHIROTAI (シロタエ)、重箱/株式会社プレスステージジャパン
食器 すみのわ/白山陶器株式会社
電気暖房 スマートヒーター 2/バルミューダ株式会社
椅子 bo chair/株式会社宮崎椅子製作所
家具 (シェルフ) ソラヘ/株式会社メーベルトーコー
ドライバースリム 絶縁ドライバー/株式会社兼古製作所
回転曲げ疲労試験機 GIGA QUAD/株式会社山本金属製作所
卓上型会話支援機器 コミュニケーション・サポートシステム コミューン/ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
軽トラ屋台 K mobile (GULL, KYAKU/steel, KYAKU/wood)/ナグモデザイン事務所+海野建設株式会社
住宅 住みつなぐ家づくり 骨の見える家/ロイヤルハウス株式会社
インターネットサービス・アプリコンテンツ YAMAP (ヤマップ)/株式会社セフリ
ライフスタイル提案型複合施設 里山十帖プロジェクト/株式会社自遊人

グッドデザイン・地域づくりデザイン賞 (日本商工会議所会頭賞) 3 件

木造軸組構造 MS 造 (MS ストラクチャー) /三交不動産株式会社+宮川森林組合+株式会社エム・エス・ピー
景観保全プロジェクト 石積み学校/石積み学校
瀬戸内しまのわ2014/瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」実行委員会ほか

復興デザイン賞 (日本デザイン振興会会長賞) 2 件

災害復興公営住宅 女川町営運動公園住宅/女川町+独立行政法人都市再生機構+株式会社山設計工房ほか
猪苗代のギャラリー 猪苗代浅井邸蔵再生プロジェクト/会津大学短期大学部

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞 (日本デザイン振興会会長賞) 25 件

事務用粘着テープ スコッチ® メンディングテープ/スリーエム ジャパン株式会社
工作用接着剤 セメダインC/セメダイン株式会社
筆ペン ペンてる筆/ペンてる株式会社
ホワイトボードマーカー ホワイトボードマーカー補充タイプ/株式会社パイロットコーポレーション
パレット 月光荘 アルミ製水彩パレット/株式会社月光荘画材店
アルバム フェルアルバム/ナカバヤシ株式会社
生徒手帳 生徒手帳/株式会社ラーンズ
露出計 スタジオデラックスⅢ L-398A/株式会社セコニック
ストップウオッチ セイコー ストップウオッチ/セイコーウオッチ株式会社
双眼鏡 8x20HG L DCF / 10x25HG L DCF/株式会社ニコンビジョン
PlayStation®用コントローラー/株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
モニターヘッドホン MDR-CD900ST/株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ+ソニー株式会社
電子ピアノ クラビノーバ CVP シリーズ/ヤマハ株式会社
ハードクーラー 54QT スチールベルト® クーラー/コールマン ジャパン株式会社
ハンディフードプロセッサー バーミックス/株式会社チェリーテラス
極薄タンブラー 大タン薄底磨、中タン薄底磨、小タン薄底磨、サンピン薄底磨、天開サンピン薄底磨/木村硝子店
ソファ 無印良品 体にフィットするソファ/株式会社良品計画
いす LUSH (ルッシュ)/愛知株式会社
ツールワゴン ロイヤル TWR-2、TWR-4/トラスコ中山株式会社+東洋スチール株式会社
折りたたみ式扉 イスターカーテン/東工シャッター株式会社
電動式カウンターフォークリフト トヨタ L&F GENE0 (ジェネオ)-B/株式会社豊田自動織機
安全靴 VP セーフシリーズ、ハイ・ベルデ コンフォートシリーズ、ラバーテックシリーズ/ミドリ安全株式会社
産業用ヘルメット キャップ型ヘルメット SC-11 シリーズ/ミドリ安全株式会社
森永ミルクキャラメル 12粒 森永ミルクキャラメル/森永製菓株式会社
栄養調整食品 カロリーメイト ブロック/大塚製菓株式会社

審査委員長メッセージ

今年度のグッドデザイン賞、中でもグッドデザイン・ベスト 100 に象徴される各分野におけるデザインの充実化は納得度が高いものでした。商品をはじめ建築やアプリケーション、コンテンツ、サービスなどに至るまで、幅広いものごとに通ずるデザインの成果がこれまで以上に明らかになっていました。募集の開始にあたって、今回のグッドデザイン賞におけるテーマとして「心地の質」を挙げましたが、それはものがその形を徐々に失いつつある代わりに、これまでものによって媒介されていた機能の数々がダイレクトに私たちの生活の中に顕われてくるようになり、いかにそうした機能が人々にとって使い勝手がよい、快いものであるかが問われていると考えたからです。目に見えるものそれ自身の形だけでなく、ものとの関係や、人との相互作用的な関わり合いといった、目に見えにくい部分を含めてデザインされることで、どのような心地を私たちにもたらしてくれるかが大事になっています。

今回の受賞結果には、たとえば最先端の技術や技法を駆使しながら、それが単なる技術革新でなく、日常の生活の場面や、一般的には非日常的とされる医療や製造現場といったきわめて特化された場面など、求められる状況に対していかに有用であるかという洞察を伴ったデザインとして達成された事例が少なからず認められました。このことは、日本が長年にわたり培ってきたものづくりの粋・技術力が、私たちの暮らしの中に適切に着地した成果であるように考えられます。一時期は国際的な地位の低下が叫ばれた日本の産業力ですが、人々が使いやすく、心地よく感じられるものやサービスなどを高度にパッケージングして社会に提供できる総合力は健在です。そうした総合力の源には、おそらくデザイナーだけでなく、エンジニアやプランナーをはじめ、プロジェクトに関わる全ての人たちの間にある種のデザイン思考が共有され、目標が明確化されていたことがうかがえます。その結果として、新しい生活のインフラとなりうるデザインが着実に生まれてきていることに対しても希望が感じられました。



深澤 直人
2014 年度グッドデザイン賞審査委員長

2014 年度グッドデザイン賞審査委員会

審査委員長 深澤 直人
(プロダクトデザイナー)

審査副委員長 佐藤 卓
(グラフィックデザイナー)

特別審査ユニット

榎 勝彦 (プロダクトデザイナー)
小林 昭世 (デザイン研究者)
田川 欣哉 (デザイン・エンジニア)

永井 一史 (アートディレクター)
羽藤 英二 (交通工学研究者)
松井 龍哉 (ロボットデザイナー)

横川 正紀 (クリエイティブディレクター)
厩本 純一 (HCI 研究者)

審査委員 ※◎=ユニット長

ユニット 01 :

生活用の装身具、スポーツ用品

◎廣田 尚子 (プロダクトデザイナー)
小林 昭世 (デザイン研究者)
中坊 壮介 (プロダクトデザイナー)
山田 遊 (バイヤー)

ユニット 02 :

身の回り・ライフスタイル用品

◎渡辺 弘明 (インダストリアルデザイナー)
川島 蓉子 (マーケティングマネージャー)
工藤 青石 (クリエイティブディレクター)
寺田 尚樹 (建築家)

ユニット 03 :

生活・家庭用品、キッチン用品

◎山本 秀夫 (プロダクトデザイナー)
池田 美奈子 (編集者)
佐藤 弘喜 (インダストリアルデザイナー)
須藤 玲子 (テキスタイルデザイナー)

ユニット 04 :

生活家電・音響機器・照明器具

◎柴田 文江 (デザイナー)
澄川 伸一 (プロダクトデザイナー)
長町 志穂 (照明デザイナー)
松田 朋春 (プランナー)

ユニット 05 :

個人・家庭向け情報機器

◎榎 勝彦 (プロダクトデザイナー)
色部 義昭 (アートディレクター)
鈴木 元 (プロダクトデザイナー)
松井 龍哉 (ロボットデザイナー)

ユニット 06 :

家具・インテリア用品、住宅設備

◎橋田 規子 (プロダクトデザイナー)
五十嵐 久枝 (インテリアデザイナー)
服部 滋樹 (クリエイティブ・ディレクター)
吉田 龍太郎 (家具プロデューサー)

ユニット 07 :

素材・部材、開発・生産・製造用の機器・設備、製造技術・製造法／研究・教育・医療用の機器・設備

◎安次富 隆 (プロダクトデザイナー)
内田 まほろ (キュレーター)
重野 貴 (プロダクトデザイナー)
田川 欣哉 (デザイン・エンジニア)

ユニット 08 :

オフィス用品・機器、流通・販売用の機器・設備／公共用の機器・設備

◎朝倉 重徳 (インダストリアルデザイナー)
池村 明生 (デザインプランナー)
田子 學 (デザイナー)
樋口 孝之 (デザイナー)

ユニット 09 :

移動機器・設備

◎山田 晃三 (デザインディレクター)
根津 孝太 (デザイナー)
羽藤 英二 (交通工学研究者)
原 研哉 (デザイナー)
森口 将之 (モビリティジャーナリスト)

ユニット 10 :

住宅・住空間／建築工法

◎古谷 誠章 (建築家)
篠原 聡子 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
日野 雅司 (建築家)
松村 秀一 (建築家)

ユニット 11 :

産業・公共空間・建築・施設／建設工法

◎安田 幸一 (建築家)
高橋 晶子 (建築家)
廣村 正彰 (アートディレクター)
山梨 知彦 (建築家)

ユニット 12 : メディア、ソフトウェア、コ

ンテンツ、パッケージ、広告、宣伝

◎永井 一史 (アートディレクター)
鹿野 護 (アートディレクター)
久保田 晃弘 (デザイナー／アーティスト)
遠山 正道 (実業家)
中谷 日出 (映像アートディレクター)

ユニット 13 :

サービス・システム、ビジネスモデル・ビジネスメソッド、社会基盤／プラットフォーム、インターフェイス

◎厩本 純一 (HCI 研究者)
江渡 浩一郎 (メディアアーティスト)
中川 淳 (実業家／経営コンサルタント)
日高 一樹 (知的財産権戦略コンサルタント)
松下 計 (アートディレクター)

ユニット 14 :

活動・取り組み、社会貢献活動／研究活動、研究手法、都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり

◎南雲 勝志 (デザイナー)
石川 初 (ランドスケープデザイナー)
林 千晶 (プロジェクトマネージャー)
横川 正紀 (クリエイティブディレクター)

二次審査ユニット

韓国審査ユニット

◎渡辺 弘明 (インダストリアルデザイナー)
榎 勝彦 (プロダクトデザイナー)
Do-sung Chung (インダストリアルデザイナー)
Jung sik Yun (プロダクトデザイナー)

台湾審査ユニット

◎田子 學 (デザイナー)
鈴木 元 (プロダクトデザイナー)
Manfred Wang (プロダクトデザイナー)
Ming-Lung Yu (グラフィックデザイナー)
Tony K. M. Chang (インテリアデザイナー)

香港審査ユニット

◎中坊 壮介 (プロダクトデザイナー)
廣村 正彰 (アートディレクター)
Chi-Wing Lee (プロダクトデザイナー)
Renke He (デザインディレクター)
Rocco YIM (建築家)
Xiangyang Xin (UX デザイナー)

海外デザイン賞との連携応募に対する審査

◎澄川 伸一（プロダクトデザイナー）
橋田 規子（プロダクトデザイナー）

メコンデザインセレクションに対する審査

◎五十嵐 久枝（インテリアデザイナー）
須藤 玲子（テキスタイルデザイナー）
服部 滋樹（クリエイティブ・ディレクター）
廣田 尚子（プロダクトデザイナー）

新潟審査ユニット

◎山本 秀夫（プロダクトデザイナー）
橋田 規子（プロダクトデザイナー）

特別賞審査会：ゲスト審査委員

グッドデザイン賞が連携するデザイン賞の審査委員

Mr. Chokeanand Bussracumpakorn (President, Industrial Designers Society of Thailand)
Ms. M.L.Pawinee Santisiri (President, Design and Objects Association, Thailand)
Mr. Hrridaysh Deshpande (Director, DYP-DC, India)
Mr. Pradyumna Vyas (Director, National Institute of Design, India)
Mr. Song Kee Hong (Executive Committee Member, Design Business Chamber Singapore)
Mr. Ulrich Schraudolph (Executive Committee Member, Design Business Chamber Singapore)

2013 年度金賞等を受賞したデザイナー

石塚 尚之（Google エンジニアリング ユーザーエクスペリエンスデザイナー）
原田 幸一（株式会社 ランドマック General Manager）
山崎 晴太郎（株式会社セイタロウデザイン／株式会社メディカルチャープラス 代表／アートディレクター／デザイナー）
川田 学（ヤマハ株式会社 デザイン研究所 所長）
野田 泰平（株式会社ペー・ジェー・シー・デー・ジャパン 代表取締役社長）
河村 謙一（株式会社マルニ木工 開発部 部長）
新津 琢也（ソニー株式会社 クリエイティブセンター シニアプロデューサー）
吉田 道生（サムスン電子ジャパン株式会社 Design team 部長）
加藤 小里（トヨタ自動車株式会社 グローバルデザイン企画部デザインコミュニケーショングループ）
阪口 庸介（ダイハツ工業株式会社 技術本部デザイン部 部長）
天辰 祐介（株式会社ケイテック 企画営業部 プロジェクトコーディネーター）
羽生 宏人（独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系 准教授）
井口 聖（自然科学研究機構国立天文台チリ観測所 教授／東アジア・アルマ・プロジェクトマネージャ）
手塚 由比（株式会社手塚建築研究所 代表取締役）
亀川 和義（株式会社クロスエフェクト 技術グループ デザインチームリーダー）
福井 美佐（ヤマハ発動機株式会社 デザイン本部コーポレートデザイン部）
福田 正純（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 CCC デザインカンパニー 新規事業デザイン部 執行役員 部長）

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員

川上 元美（デザイナー）
佐藤 卓（グラフィックデザイナー）
深澤 直人（プロダクトデザイナー）

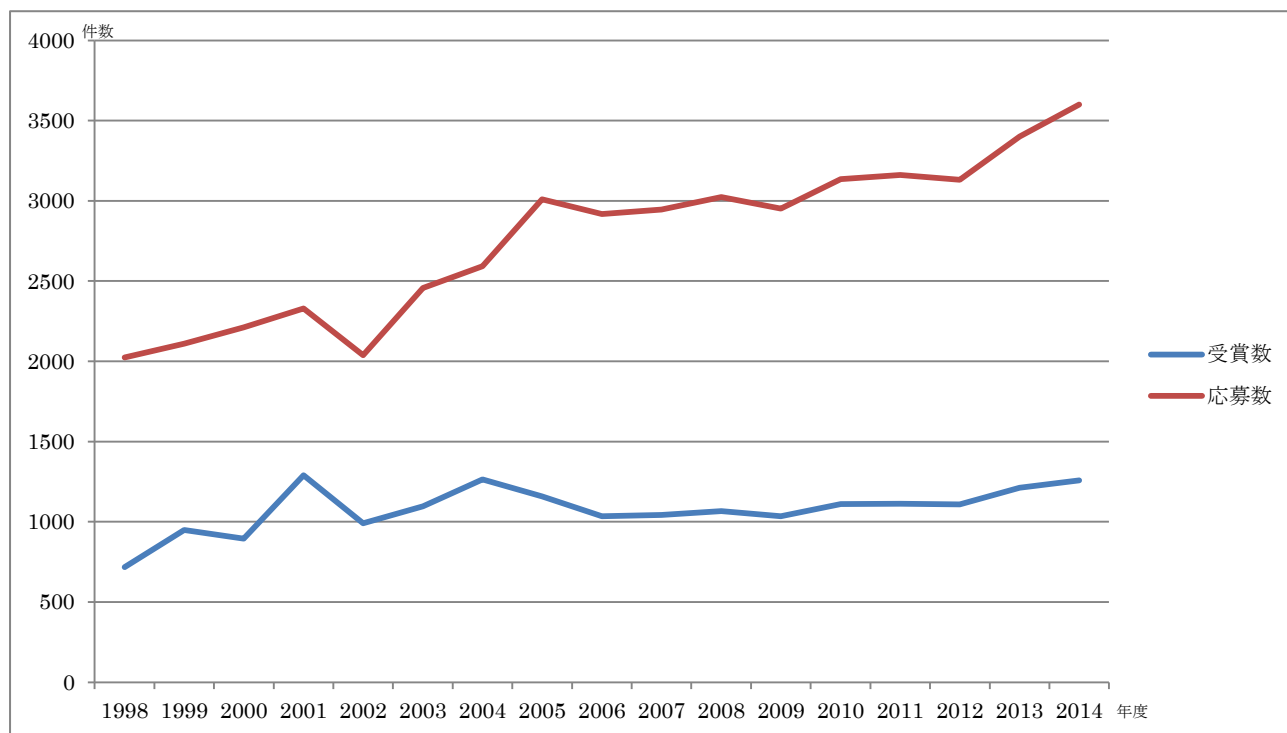
2014 年度グッドデザイン賞スケジュール

2014 年 4 月 2 日	2014 年度グッドデザイン賞開催要綱等の公開
4 月 15 日-6 月 10 日	応募受付期間
6 月 18 日-7 月 14 日	一次審査期間
7 月 15 日	一次審査結果通知
7 月 24 日-9 月 9 日	二次審査期間
8 月 4・5 日	台湾二次審査会
8 月 5・6 日	韓国二次審査会
8 月 12・13 日	香港二次審査会
8 月 19 日	新潟二次審査会
8 月 26 日-28 日	二次審査会
9 月 4 日	グッドデザイン賞確定会・グッドデザイン・ベスト 100 選出会
9 月 10 日	二次審査結果通知
10 月 1 日	受賞発表
10 月 11 日-13 日	グッドデザイン・ベスト 100 デザイナーズプレゼンテーション
10 月 30 日	特別賞審査会
10 月 31 日-11 月 4 日	受賞展「グッドデザインエキシビション 2014」
10 月 31 日-11 月 3 日	グッドデザイン大賞投票
11 月 4 日	グッドデザイン賞表彰式・グッドデザイン大賞選出
12 月 9 日	特別賞表彰式
2015 年 3 月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2014」発刊

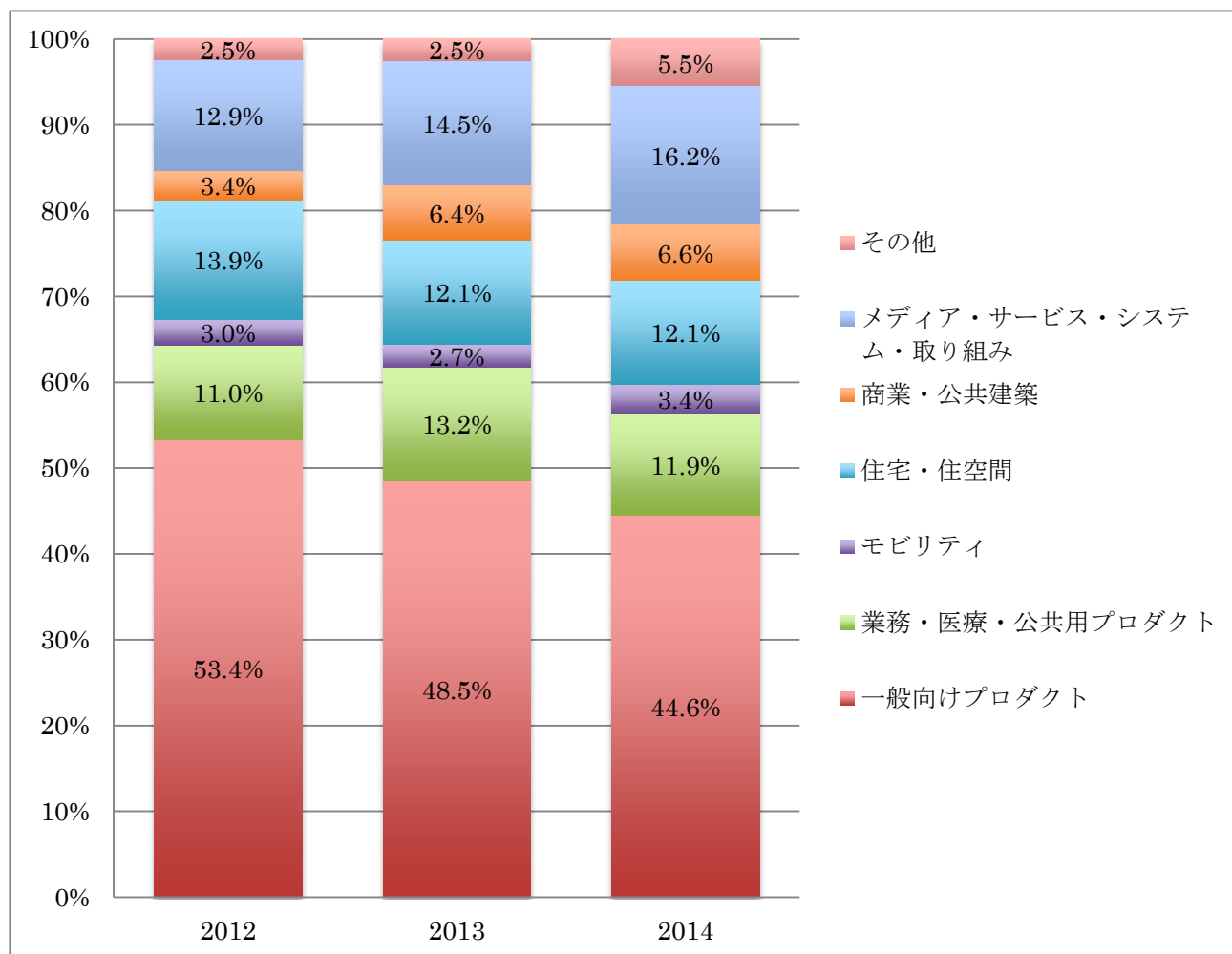
2014 年度ロングライフデザイン賞スケジュール

2014 年 4 月 15 日	2014 年度ロングライフデザイン賞実施要領公開
4 月 15 日-6 月 10 日	一般からの推薦期間
7 月 7 日	審査対象の決定
7 月 23 日	事業主体企業からの応募締切
8 月 1 日-8 月 20 日	候補の公表と一般からのメッセージ募集
8 月 26 日-8 月 28 日	審査会
10 月 1 日	受賞発表
10 月 31 日-11 月 3 日	受賞展示会
11 月 2 日	表彰式
2015 年 3 月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2014」発刊

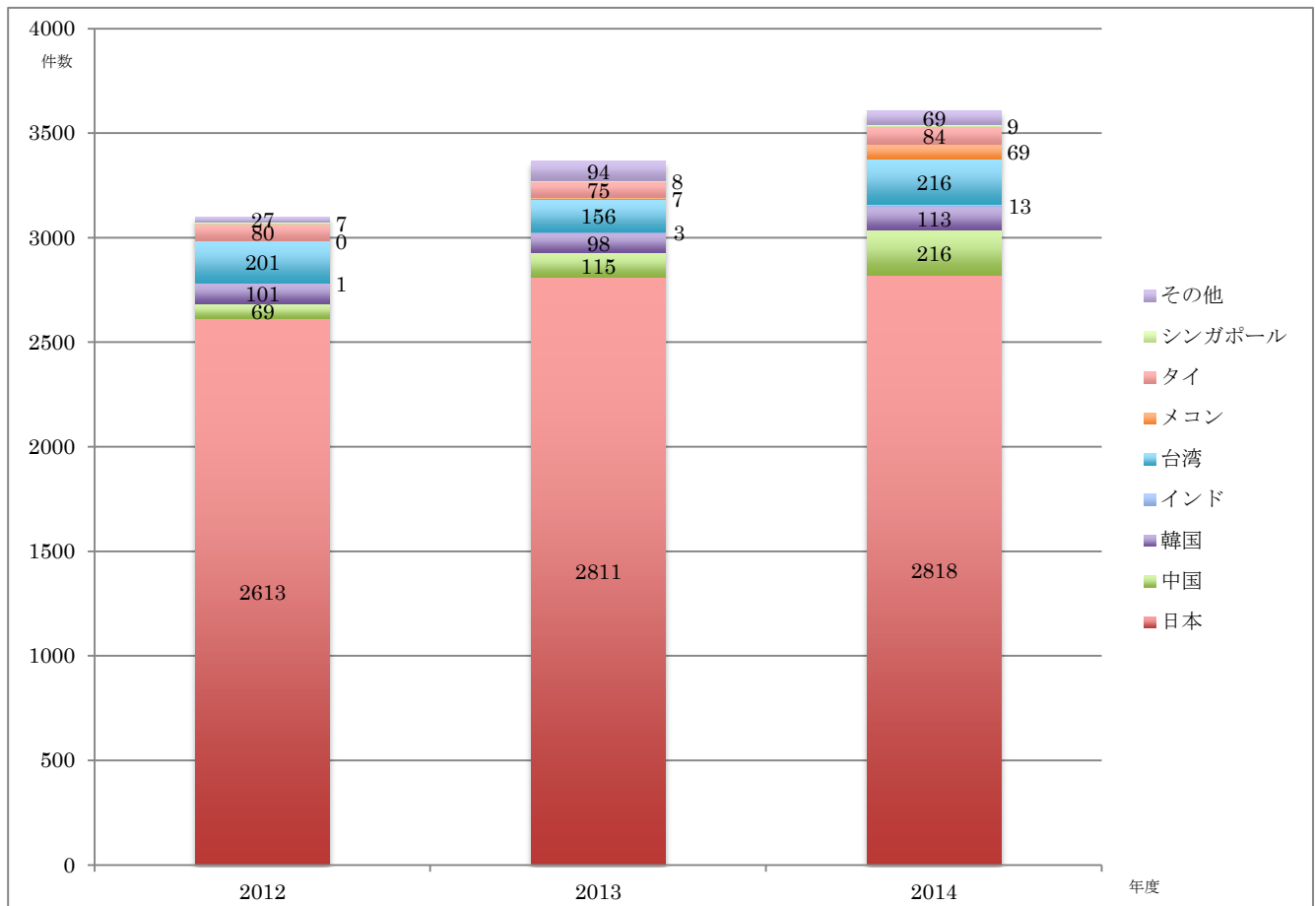
グッドデザイン賞応募数、受賞数



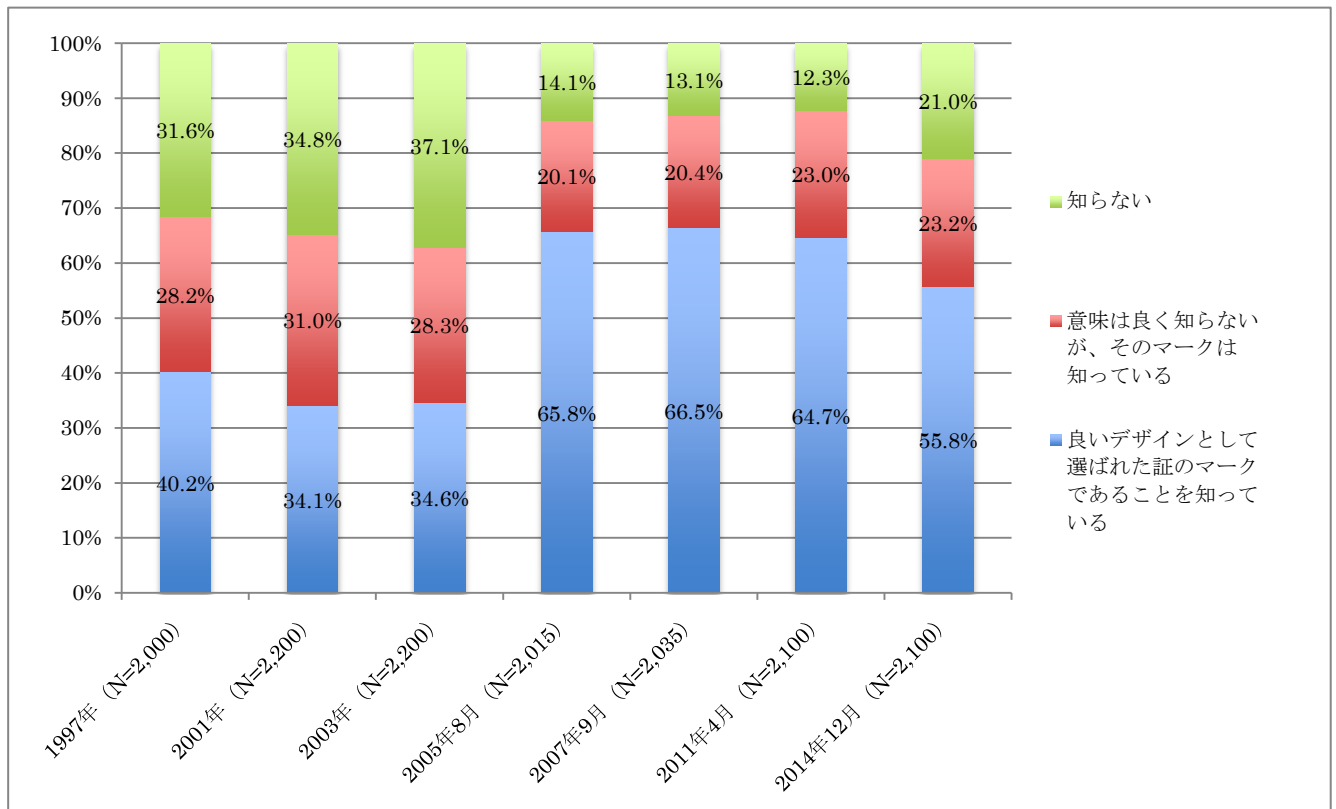
受賞領域の比率



国別応募数



G マーク認知率



2. 海外事業

日本デザイン振興会では、日本のデザインの国際的なプレゼンスの向上と、デザインを通じた国際交流の促進に取り組んでいる。特にグッドデザイン賞の運営で培ったデザイン評価と推奨の手法を活かし、2014 年度も海外のデザイン関連団体やデザイン賞との更なる協力関係の構築を推進した。

タイ、インドおよびシンガポールのデザイン賞連携・運営支援継続

タイの「デザインエクセレンス賞 (DE Mark)」、インドの「インディア デザイン マーク (I Mark)」およびシンガポールの「シンガポール グッドデザイン マーク (SG Mark)」については、それぞれのデザイン賞の設立から支援を行い、運営についても日本から審査委員を派遣して審査に加わるほか、セミナーの実施、グッドデザイン賞受賞作展示などの協力を継続した。また、これらのデザイン賞の受賞者は、グッドデザイン賞の一次審査が免除となるが、インド・シンガポールについては、グッドデザイン賞受賞対象がそれぞれの賞に応募する場合も、一次審査が免除される優遇措置がある。2014 年度はこの制度を利用した日本企業からの応募・受賞が拡大した。(インド 6 件、シンガポール 8 件受賞)



タイ DE 賞との連携

国際関係のさらなる拡大

2014 年 6 月に、フィリピンのデザイン振興機関「Design Center of the Philippines」と、デザイン振興、交流に関する協力の覚書を締結した。この覚書に基づいて、2015 年 2 月には、東京ミッドタウン・デザインハブにて「Philippine Design Exhibition - Movement 8 にみる最新のフィリピンデザイン」展示実施に協力した。

11 月には、トルコ・インダストリアルデザイナー協会 (ETMK) 主催で 2 年に 1 回行われるデザイン賞「Design Turkey」の審査会に協力し、日本からの審査委員の派遣および講演を行った。

2015 年 2 月には、台湾の財団法人金属工業発展研究センターとデザイン振興に関する相互連携の覚書を締結した。同センターは、金属および関連工業のレベルアップ、国際的市場における競争力強化を目指しており、今後当会と協力して企業内におけるデザインマネジメントの推進、デザインコンサルティング、台湾におけるグッドデザイン賞のプロモーションなどに共同で取り組んでいく。



フィリピンデザイン展

教育交流

2010 年に浙江大学 (中国) および千葉大学との三者間により交わした人材育成に関する連携協定に基づき、2014 年 9 月からケーススタディを中心とした全 7 回の集中演習授業「融合と創意デザイン」を以下の企業・学校とともにを行った。

協力企業一覧

キャノン株式会社／株式会社島津製作所／トヨタ自動車株式会社／名古屋工業大学／パナソニック株式会社／三菱電機株式会社



ETMK への協力



浙江大学での演習授業

インターナショナル・メディアパートナー

海外でのグッドデザイン賞に対する認知度向上を目指し、2014 年度も受賞展「グッドデザインエキシビション 2014」のメディアパートナーとして、海外の有力媒体 8 社を招聘した。受賞展・表彰式の見学だけでなく、同時開催されていた販売企画やワークショップなどもツアー日程として組んだほか、複数の審査委員へのインタビューなども行い、グッドデザイン賞プロモーションのすそ野の広さをアピールし、各媒体での記事掲載につなげた。

メディアパートナー一覧

uDesign (台湾) / Monthly DESIGN (韓国) / 深圳特区報 (中国) / Design Anthology (香港)
/ Core77 (米国) / DESIGN BUREAU (米国) / Yank Design (米国) / DESIGN42DAY (米国)



メディアパートナー

「グッドデザインストア」の開設

日本のデザインや商品の需要が高い東アジアにて、日本デザインのプレゼンスを示すとともに G マーク及びグッドデザイン賞への認識とその価値を高めることを目的に、香港のクリエイティブ産業の新拠点である PMQ に広報拠点「GOOD DESIGN STORE」を 2014 年 5 月に開設した。

常設店舗型の拠点とし、グッドデザイン賞の PR とともに購買意欲が強い香港で受賞商品の販売を行い、アジアでのビジネス展開を模索する企業への流通支援も同時に行っている。

2014 年度は通算約 200 種類の受賞商品を販売した他、本拠点に併設するギャラリーで 8 つの企画展を実施し、受賞企業およびデザイナーを紹介した。媒体露出・販売ともに好調に推移し、広報と販売促進を継続的に実施する拠点としての役割を果たしている。今後は事業を拡大し、アジアワイドな情報・ビジネス・人脈のネットワークを構築し、グッドデザイン賞および日本のデザイン産業に還元する。



名称	会期	主催
What is Good Design?	2014 年 5 月 1 日～6 月 30 日	JDP
KOKOCHI -sense of comfort-	2014 年 7 月 1 日～7 月 30 日	JDP
KIKOF by KIGI	2014 年 8 月 1 日～8 月 30 日	KIGI
NOMURA EXHIBITION - EIGHT FOR ONE	2014 年 9 月 2 日～10 月 30 日	乃村工藝社(香港)
TOKYO CRAFTS & DESIGN	2014 年 11 月 1 日～11 月 29 日	東京都美術館
SHOGO KISHINO EXHIBITION - it knit -	2014 年 12 月 2 日～ 2015 年 1 月 17 日	6D
SUPPOSE EXHIBITION - MULTIPLE SCALE -	2015 年 1 月 19 日～2 月 28 日	SUPPOSE DESIGN OFFICE
INHERITING THE FUNDAMENTALS, A NEW WAY OF CRAFTSMANSHIP	2015 年 3 月 3 日～4 月 11 日	門間筆笥店

3. 広報事業

東京ミッドタウン・デザインハブ事業

東京ミッドタウン・デザインハブでは、2014 年度にのべ 10 回の展示会を開催した。うち各構成機関による企画運営に基づく企画展が 5 回、3 機関による合同展が 2 回、外部企画に基づく特別展が 2 回である。日本デザイン振興会では合同企画展を含めて 4 回の企画展運営を担当した。

2014 年度開催の企画展

名称	会期	主催／企画運営	動員
第 45 回企画展「デザインバトonz～未来のデザインをおもしろくする人たち～」	2014 年 4 月 4 日 ～5 月 11 日	日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ	16,220 人
特別展「心・体にいちばん近いデザイン～発信するジュエリー～」	5 月 17 日～ 5 月 25 日	日本ジュエリーデザイナー協会	2,231 人
特別展「窓学“WINDOWSCAPE”展」	5 月 31 日～ 6 月 15 日	窓研究所	5,252 人
第 46 回企画展「日本のグラフィックデザイン 2014」	6 月 20 日～ 8 月 3 日	日本グラフィックデザイナー協会	10,913 人
第 47 回企画展「本・ことば・デザイン」	8 月 29 日～ 9 月 28 日	日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ	8,770 人
第 48 回企画展「私の選んだ一品 2014」	10 月 4 日～ 10 月 25 日	日本デザイン振興会	6,758 人
第 49 回企画展「いろは展」	11 月 21 日～ 12 月 25 日	武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ	5,808 人
特別展「-DNA にひびくデザイナー- 第 54 回日本クラフト展」	2015 年 1 月 10 日 ～1 月 18 日	公益社団法人日本クラフトデザイン協会	8,564 人
特別展「PHILIPPINE DESIGN EXHIBITION」	2015 年 2 月 18 日 ～3 月 1 日	日本デザイン振興会	1,916 人
第 50 回企画展「おいしい東北パッケージデザイン」	3 月 6 日～ 3 月 29 日	日本グラフィックデザイナー協会	7,443 人



デザインバトonz展



本・ことば・デザイン展



私の選んだ一品展

東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年 8 月に子ども向け連続ワークショップ企画を開催している。2014 年度は 11 件のワークショップを実施した。ワークショップの実施主体は企業、デザイナー、教育研究機関など幅広く、デザインを通じた児童教育や、企業による社会貢献活動の促進などの点でも定評を得た。

東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク 2014

名称	開催日	実施主体
3D ペンをつかって空中に絵をかこう	8 月 4 日	ナカバヤシ株式会社
お菓子でつくるぞ！ミッドタウン 行ってみよう！こんなお店	8 月 5 日	武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ
色の不思議	8 月 7 日	大日本印刷株式会社
つくって、見て、知る『レンズの世界』	8 月 8 日	株式会社ニコン
未来のおめん遊び「WA!SK」で遊ぼう！	8 月 9 日	PPP
集まれ、ヒーロー！粘土で正義のヒーローをつくろう	8 月 9 日	タカハシカオリ
むにゅであそんで、ふわふわぬいぐるみをつくろう！	8 月 10 日	ゆにここ
プログラミングってなんだ？？～アタマとカラダで知ってみよう～	8 月 10 日	()も()も()も 実行委員会
ムシコレ ～つくろう！My 虫 My 図鑑～	8 月 11 日	むさび虫とり隊
テラダモケイでつくる、ぼく・わたしの夏休み	8 月 12 日	テラダモケイ
日本ごしごし水族館 こすりだしてカラフルなおさかなをつくろう！	8 月 13 日	おさかな JAPAN



インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開する拠点である。2014年度は、東京都によるビジネスセミナーや、千葉大学大学院による国際ワークショップ、国際的に著名なデザイン戦略家を招聘したセミナーなど、デザイン関連人材育成に広く資するプログラムが実施されている。さらに韓国とドイツにおける最新のデザイン状況をテーマとする国際セミナーを開催した。



2014年度開催のおもなセミナー、シンポジウム、ワークショップ

名称	日程	実施主体
Milano Salone Description	2014年5月14日	Milano Salone Description
国際デザインセミナー 韓国の最新デザイン事情	5月15日	韓国デザイン振興院
第一回東京都デザイン導入セミナー	5月22日	東京都中小企業振興公社
国際デザインセミナー 進化するドイツ・iFデザインアワード	6月25日	iF Representative Office Japan
中国学生向けデザインワークショップ	7月30日～8月1日	千葉大学大学院工学部研究科
国際デザインワークショップ(日本・台湾学生ワークショップ)	9月1日～9月2日	千葉大学大学院工学部研究科
デザイン X クラウドファンディングがもたらす未来	9月10日	株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング
振り子のダイアログ 01 デザインエンジニアリングの起源	10月2日	LIXIL 出版
SDA 創立 50 周年記念 Per Mollrup 特別セミナー	10月20日	日本サインデザイン協会
Affective & Attractive Design Forest	11月21日	九州大学大学院芸術工学研究院
リズ・サンダース教授来日記念国際セミナー	12月17日	ダイヤモンド社

PR 事業

2014年度は当会事業に関するメディア向けPR活動として、国内向けプレスリリースを通年で合計27回配信した。内容はグッドデザイン賞事業関連：17回、国際事業関連：4回、震災復興支援事業関連：1回、受託事業関連：4回、その他：1回である。メディアでの報道・掲載は、特にグッドデザイン大賞決定に関する報道が複数のテレビ番組で行われた。また各地域ごとにグッドデザイン賞を受賞した事例に関する報道が、県紙などの地方媒体で活発に行われている。



NEWS ZERO (日本テレビ)

＜グッドデザイン賞受賞発表／特別賞決定関連のテレビ放映＞

2014年10月1日	news every (日本テレビ)
10月1日	NEWS ZERO (日本テレビ)
10月2日	Oha! 4 NEWS LIVE (日本テレビ)
10月2日	PON! (日本テレビ)
11月4日	NEWS ZERO (日本テレビ)
11月5日	めざましテレビ (フジテレビ)
11月5日	news every (日本テレビ)
11月5日	Oha! 4 NEWS LIVE (日本テレビ)
11月5日	ZIP! (日本テレビ)
11月21日	くらし解説 (NHK 総合)

＜グッドデザイン賞関連のテレビ放映＞

2015年2月9日	NEWS WEB (NHK 総合)
-----------	-------------------

一般向けの情報発信としては、JDP メールマガジンを各月2回ずつ合計24回定期配信したほか、ウェブ媒体「DESIGN NEWS」は合計78回の記事更新を行った。



くらし解説 (NHK 総合)

4. 震災復興支援事業

2011 年 6 月から当会内に「復興支援デザインセンター」を設立し、東日本大震災被災地域の産業と経済の復興支援として 7 県（青森県、秋田県、山形県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県）を対象としたデザインプロモーションを実施している。当初 3 年間（2013 年度まで）の実施予定であったが、2014 年度もこれを継続して実施。グッドデザイン賞の応募費用や G マーク使用料を無償とした。結果として、当該プロモーション地域からは合わせて 57 件（うち特別賞 7 件）の受賞があった。

また、2015 年 3 月には東京ミッドタウンの商業催事スペースにて「復興デザインマルシェ」を開催し、当該プロモーション地域の事業者に展示・販売の機会を提供した。また、本イベントブース用に使用した木材は気仙沼でツリーハウス活動を実施する団体に寄贈し、現地でのマルシェイベントにも展開されている。

参考:2014 年度グッドデザイン賞県別受賞件数(復興支援プロモーション地域)

青森県	7 件
秋田県	5 件（うち特別賞 1 件）
山形県	6 件
岩手県	7 件（うち特別賞 2 件）
宮城県	13 件（うち特別賞 2 件）
福島県	7 件（うち特別賞 1 件）
茨城県	12 件（うち特別賞 1 件）
合計	57 件（うち特別賞 7 件）

「復興デザインマルシェ 2015」概要

会 期:2015 年 3 月 15 日(日)、16 日(月)

会 場:東京ミッドタウン アトリウム

出店者:東北地方・茨城県のメーカー、デザイナーなど、約 30 社

主 催:公益財団法人日本デザイン振興会 復興支援デザインセンター

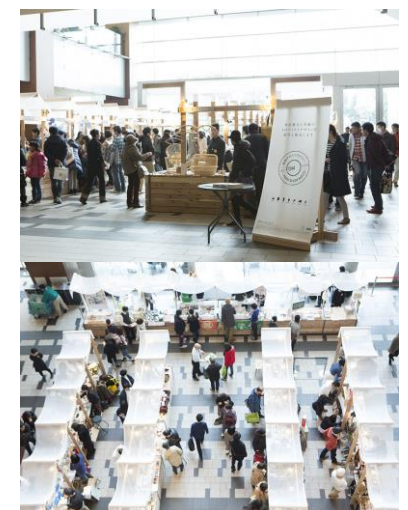
共 催:KDDI 株式会社

特別協力:東京ミッドタウン

協 力:山形県工業技術センター、茨城県デザインセンター、地方独立行政法人岩手県工業技術センター、林野庁、全国森林組合連合会、コイニー株式会社

会場・ビジュアルデザイン:小泉秀一郎(有限会社小泉設計室)

企画ディレクター:柳良樹(KDDI 株式会社)



復興デザインマルシェ

5. 公共プロモーション事業

東京ビジネスデザインアワード

東京都が主催し、当会が企画運営をおこなう「東京ビジネスデザインアワード」では、都内ものづくり中小企業の持つ技術・素材を「テーマ」として募集し、その「テーマ」に対して全国のデザイナーから新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザインを募集し、有識者による審査により、優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングし、ビジネス実現化に向けた支援を行っている。

2012年度の創設から3回目の実施となった2014年度は、前回までの受賞作からビジネス実現化した事例が5件と増え、確実な成果をあげた。2014年度の事業では、より充実した商品化・事業実現化を目指し、知財戦略・デザイン契約、および販路開拓のサポートの強化を行った。

2014年度 東京ビジネスデザインアワード 概要

主催：東京都

企画運営：公益財団法人日本デザイン振興会

事業スケジュール：

4月17日～6月24日	開催概要発表・テーマ募集開始
7月上旬	テーマ審査会
8月5日～10月16日	テーマ発表・提案募集開始
10月下旬	提案一次審査
11月上旬	提案二次審査
2015年1月28日	提案最終審査・結果発表・表彰式

審査委員：

廣田尚子	プロダクトデザイナー／ヒロタデザインスタジオ 代表 [審査委員長]
川田誠一	工学博士／産業技術大学院大学 産業技術研究科長・教授
日高一樹	デザイン・知的財産権戦略コンサルタント／日高国際特許事務所 所長
松井龍哉	ロボットデザイナー／フラワーロボティクス株式会社 代表
山田 遊	パイヤー・クリエイティブディレクター／株式会社 method 代表

応募数：

テーマ応募企業 23 社

テーマ選定企業 12 社

デザイン提案応募数 104 点

マッチング成功企業 11 社

テーマ賞受賞：11 組の企業とデザイナー

最優秀賞・テーマ賞 1件(賞金 100 万円)

【テーマ】光学部品製造で培った“ガラスの精密接合加工技術” カドミ光学工業株式会社(日野市)

【提案】光学ガラスの特徴を活かした祈りのための道具 三浦 秀彦、久保井武志(デザイナー／クラウドデザイン)

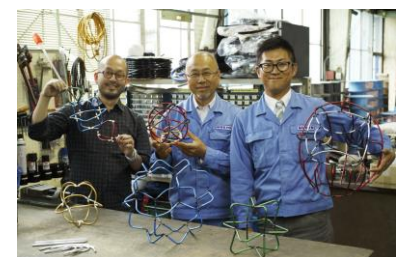
優秀賞・テーマ賞 2件(賞金各 20 万円)

【テーマ】生地両面に印刷できる、精密で鮮やかな“昇華染色技術” 楽ブリ株式会社(中央区)

表裏使うことができるイベント用多機能ハッピー 佐野 文彦(デザイナー／studio PHENOMENON)

【テーマ】多種多様な素材の特性を活かした“パフホイル(布製研磨用具)製造技術” 有限会社中央パフ製作所(荒川区)

パフ独特の縫製技術を活かした布製品ブランド 小関 隆一(アートディレクター・デザイナー／RKDS)



デザインコンサルティング講座

デザインコンサルティング講座「TOKYO DESIGN EXERCISE」は、デザイナーが中小企業と効果的にデザイン開発を行うために有用な知識の幅や視野を広げるための講座として2012年度より実施しており3年目を迎えた。実務的なデザイン業務だけでなく、企画から販促、広報段階まで、ビジネス全体の提案と品質管理ができるようなプロデューサー的デザイナーの育成を目的としている。様々な分野の最先端で活躍している講師を招き、デザイナーが産業とデザインの「つなぎ手」となるためのヒント獲得を目指している。本年度は全8回の講座を「企画・開発」「知財・契約」「販売・市場分析」「宣伝・広報」の4つにテーマ分け実施し、開発プロセスに沿った内容の講座として展開した。

デザインコンサルティング講座「TOKYO DESIGN EXERCISE」概要

講座期間:2015年2月17日～3月18日

主催:東京都

企画運営:公益財団法人日本デザイン振興会

受講対象者:

- ・独立している、またはこれから独立しようと考えているデザイナー
- ・プランナー、プロデューサーなどで中小企業とのデザイン協働に関心のある方
- ・企画力、プロデュース力等のデザイン業務を超えたスキルアップを考えるインハウスデザイナー

会場:インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

テーマ・スケジュール・講師

【企画・開発】

第1回 2月17日「クリエイティブを事業化するには」

天野 譲滋 デザインビジネスプロデューサー／株式会社ジョージクリエイティブカンパニー代表

第3回 2月23日「新たな魅力の宿らせ方」

居山 浩二 アートディレクター、デザイナー／株式会社イヤマデザイン 代表

【知財・契約】

第2回 2月19日前半(講義)／第4回 2月25日後半(ワークショップ)

「デザイナーとして知っておくべき知財の話」

日高 一樹 デザイン・知的財産戦略戦略コンサルタント／日高国際特許事務所 所長 弁理士

【販売・市場分析】

第5回／第6回 3月7日

「バイヤーから見た、商品・ショップ成功のメソッド」

山田 遊 バイヤー、監修者／株式会社メソッド代表取締役

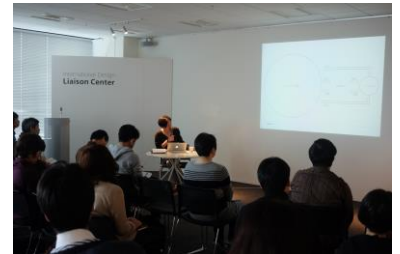
【宣伝・広報】

第7回 3月14日「建築・デザイン事務所におけるPRとは」

武藤 智花 建築PRアドバイザー／有限会社ネオプラスシックステン 代表取締役

第8回 3月18日「流行を生み出すアイデアのつくり方」

草なぎ 洋平 編集者／株式会社東京ピストル 代表



2020年東京オリンピック開催に向けた取り組み

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定したことをうけ、公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、日本デザイン学会の5機関が中心となり「東京デザイン2020フォーラム」を2013年秋に設置した。その一環として、オリンピックについて語る「オープンセッション」などを開催している。2014年度は4つのパブリックプログラムを実施した。



東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.02

テーマ：2020 年東京をディレクションする

日時：2014 年 1 月 10 日

会場：東京藝術大学 美術学部絵画棟 1 階 大石膏室

出演者：宮田亮平〔東京藝術大学 学長〕河北秀也〔アートディレクター／東京藝術大学 美術学部デザイン科 教授〕北郷悟〔彫刻家／東京藝術大学 理事・美術学部彫刻科 教授〕日比野克彦〔アーティスト／東京藝術大学 先端芸術表現科 教授〕芦原太郎〔建築家／公益社団法人日本建築家協会 会長〕松永真〔グラフィックデザイナー／公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 理事〕色部義昭〔グラフィックデザイナー／東京藝術大学 美術学部デザイン科 非常勤講師〕宮崎桂〔サインデザイナー／公益社団法人日本サインデザイン協会 副会長〕中村政人〔現代美術家／東京藝術大学 美術学部絵画科 准教授〕藤崎圭一郎〔デザインジャーナリスト／東京藝術大学 美術学部デザイン科 准教授〕



東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.03

テーマ：クリエイティブ・アスリートの主張

日時：2014 年 7 月 26 日

会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 1 号館 104 第 2 講義室

出演者：矢後直規〔アートディレクター・グラフィックデザイナー〕小林幹也〔デザイナー兼店主〕角田真祐子〔デザイナー・minna 代表取締役社長〕伊藤友紀〔建築家〕伊賀千恵〔デザイナー・プランナー〕加藤晃央〔株式会社モーフィング代表取締役〕池澤樹〔アートディレクター・グラフィックデザイナー〕他学生多数



東京デザイン 2020 オープンセッション Vol.04

テーマ：2020 のデザイン アート＋スポーツ＋テクノロジーの融合による未来

日時：2014 年 9 月 20 日

会場：筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134 講義室

出演者：太田圭〔筑波大学教授 美術、日本スポーツ芸術協会理事〕加藤研〔筑波大学芸術系助教 建築デザイン〕河本浩明〔筑波大学システム情報工学系 サイバニクス研究センター〕高橋義雄〔筑波大学体育系 スポーツマネジメント〕田中佐代子〔筑波大学芸術系准教授 ビジュアルデザイン〕松尾伴大〔筑波大学卒業生 デザインプロジェクト「参」メンバー、音響エンジニア〕山口香〔筑波大学体育系准教授〕渡和由〔筑波大学芸術系准教授 環境デザイン〕山中敏正〔筑波大学芸術系教授 感性科学・プロダクトデザイン、日本デザイン学会会長〕



東京デザイン会議 2014

テーマ：都市×情報×移動の未来を考える

日時：2014 年 11 月 3 日

会場：東京大学 工学部 1 号館 15 号教室

出演者：磯崎新〔建築家〕内藤廣〔建築家〕妹島和世〔建築家〕原研哉〔デザイナー〕田川欣哉〔デザインエンジニア〕深澤直人〔プロダクトデザイナー〕廣瀬隆正〔東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会施設整備局 局長〕木暮深〔首都高速道路株式会社 執行役員〕中野恒明〔株式会社 アプル総合計画事務所 所長〕羽藤英二〔都市工学者〕



6. 会務

(1) 賛助会員の現状および後援・協賛事業について

2014 年度の賛助会員および情報会員数は 217 で、会費は広く公益事業に役立てている。

また、2014 年度に当会が後援ならびに協賛の名義を提供した外部企画は 33 団体のべ 38 件。後援（協賛）先の内訳として、自治体およびその関連機関：13、デザイン専門団体：5、業界団体：7、海外機関：2、民間企業：5、教育機関：1 であった。後援（協賛）事業の内訳は、デザイン展：11、見本市：10、デザインコンペ：9、セミナー・ワークショップ等：8 であり、当会は各地・各種の公益事業に広く協力している。

(2) 役員会等の開催について

(評議員会)

第 10 回

平成 26 年 6 月 26 日（木）15 時-16 時 30 分 リエゾンセンター・セミナー室

- ・平成 25 年度決算報告書（案）
- ・理事の選任について（案）
- ・平成 25 年度事業報告書（案）
- （報告事項：新たなグッドデザイン・フェローの者）

第 11 回

平成 27 年 1 月 30 日（金） 書面決議

- ・「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」及び同規程附則「役員退職手当支給基準に関する内規」の改定

第 12 回

平成 27 年 3 月 25 日（水） 15 時-16 時 45 分 当会会議室

- ・定款の改定（案）
- ・平成 27 年度事業計画書（案）
- ・平成 27 年度収支予算書（案）
- ・次の評議員候補者（案）
- （報告事項：役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定、内閣府提出資料の訂正（平成 25 年度収支決算書））

なお、評議員会の命により「評議員候補者選定委員会」を 3 回開催した。

第 1 回 平成 26 年 6 月 26 日（木）

第 2 回 平成 26 年 11 月 4 日（火）

第 3 回 平成 27 年 2 月 5 日（木）

(理事会)

第 11 回

平成 26 年 6 月 11 日（水） 15 時-16 時 30 分 当会会議室

- ・平成 25 年度決算報告書（案）

- ・平成 25 年度事業報告書（案）
- ・グッドデザイン・フェロー称号贈呈先候補者（案）
- ・評議員会の招集（案）

第 12 回

平成 26 年 7 月 1 日（火） 書面決議

- ・常任理事及び事務局長等の選任

第 13 回

平成 27 年 3 月 4 日（水） 15 時-16 時 45 分 当会会議室

- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定（案）
- ・内閣府提出資料の訂正（平成 25 年度収支決算書）
- ・平成 27 年度事業計画書（案）
- ・平成 27 年度グッドデザイン賞審査委員長、審査副委員長及び審査委員の委嘱（案）
- ・平成 27 年度収支予算書（案）
- ・評議員会の招集（案）

（報告事項：定款及び諸規定の改定等の経緯）

（役員懇談会）

平成 26 年 6 月 11 日（水） 17 時-18 時 30 分 国際文化会館

平成 27 年 1 月 16 日（金） 16 時-17 時 30 分 当会会議室

- ・平成 26 年度事業の状況報告（2 回とも）

（3）監査・立入検査等について

（麻布税務署 税務調査）

平成 26 年 11 月 17 日（月）、18 日（火）、21 日（金）、12 月 2 日（火） 当会会議室

- ・調査対象：平成 23、24、25 年度の法人税等、消費税、源泉所得税

（内閣府 立入検査）

平成 27 年 2 月 12 日（木） 当会会議室

- ・検査対象：公益法人移行時（平成 26 年 6 月）から現在までの公益法人認定事項

（公益財団法人 J K A 監査）

平成 27 年 2 月 20 日（金） 当会会議室

- ・監査対象：平成 22 年度実施の JKA 補助事業

(4) その他

(グッドデザイン・フェロー称号授与式)

平成 26 年 11 月 4 日 (火) 11 時 30 分-12 時 ザ・リッツ・カールトン東京

・第 11 回理事会の議決により、下記の 3 氏に称号を贈呈。

サイトウマコト / Apex Lin, Pang-Soong / Wenlong Chen